

2026 年 9 月 16 日

大谷大学
教育学部教育学科幼児教育コース
学生支援部教務課
キャリアセンター

幼児教育コース卒業生アンケートの公表について（一部抜粋）

【実施期間】

2026 年 8 月 3 日～8 月 18 日

【対象】

教育学部教育学科幼児教育コース
2024 年度卒業生 計 69 名

【回答者数】

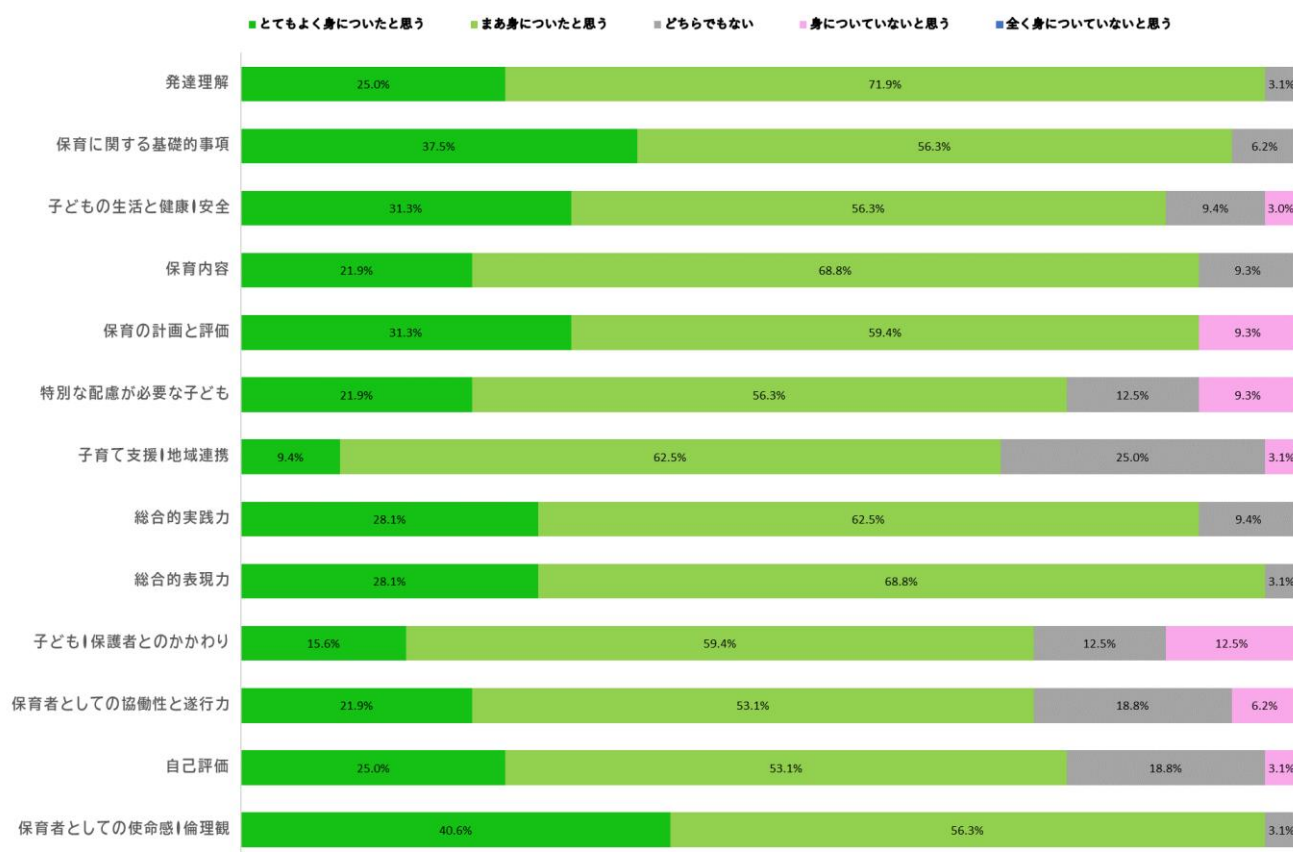
15 名（回答率 21.7%）

【設問】

1. 以下の能力（知識・技能等）について、大学での学びにおいて身についたと感じるものについて回答してください。回答にあたってはよろしければ以下の資料も参考にしてください。

DP分類	DP			コンピテンス（DPを構成する要素）	
専門分野別DP	DP4	専門的な知識	教育学科 幼児教育 コース	保育・幼児教育に関する専門的知識を身につけている。	
				01 発達理解	乳児期、幼児期、学童期以降の発達過程についての知識を有するとともに発達の個性性について理解している。
				02 保育に関する基礎的事項	保育・幼児教育の意義、理念、歴史、制度についての知識を有するとともに、子どもを取り巻く社会状況と取り組みについて理解している。
				03 子どもの生活と健康・安全	子どもの生活や健康・安全に関する基本的な知識を有するとともに今日的課題について理解している。
				04 保育内容	保育・幼児教育における保育内容を理解し、子どもの発達過程に合わせて展開するための知識・方法を身につけている。
				05 保育の計画と評価	保育・幼児教育における計画と評価の意義を理解し、指導計画・支援計画及び記録について知識・方法を身につけている。
				06 特別な配慮が必要な子ども	障害や異文化等多様なニーズについての知識を有し、保育を構想するための方法について理解している。
				07 子育て支援・地域連携	家庭における子育ての意義と今日的課題について理解し、その支援のための方法や連携についての知識を身につけている。
	DP5	専門的な技能	教育学科 幼児教育 コース	保育・幼児教育に関する専門的スキルを身につけている。	
				01 総合的実践力	保育・幼児教育に関する専門的知識を総合的に活用しながら、子どもの生活と成長を支える保育を組み立て、実践することができる。
				02 総合的表現力	保育・幼児教育の場において、適切な表現方法を選んで組み立て、効果的に表現することができる。
				03 子ども・保護者とのかかわり	保育・幼児教育に関する専門的知識を生かし、子どもと適切にかかわり、保護者を支援することができる。
				04 保育者としての協働性と遂行力	多様な考えを持つ同僚や仲間との協働、外部機関との連携を通して他者と対話し、共に保育に取り組むことができる。
				05 自己評価	経験をふりかえることで学びのプロセスを自覚し、向上心をもって、自らの課題に取り組むことができる。
				06 保育者としての使命感・倫理観	保育者としての倫理観に基づき、子どもの最善の利益の追求へむけて使命感をもって保育に取り組む姿勢・態度を示すことができる。

大学での学びにおいて身についたと感じる知識・技能



2. 在学中の、幼児教育コースでの学びや活動を通して、特に身についたと思う能力（知識・技能等）について記入してください。（回答一部抜粋）

- ・子ども主体の保育を考える力。子どもがなぜその行動をしているか背景を知ろうとし、考える力。
- ・子どもの発達とそれに伴う心理についての学び。
- ・子ども、保護者・保育者同士との関わり方で気をつけた方がいいところ。わらべうた、手あそび。グループで現場を想定した設定保育を行うことで実践力が身についた。
- ・子どもにとっての「遊び」の重要性と、それを支える保育者の役割について深く理解することができました。単に遊ばせるだけでなく、子どもの興味・関心を引き出す「環境構成」の重要性や、子どもの想いに寄り添いながら「遊びをより豊かに広げていくための適切な関わり方」を身につけることができたと感じています。
- ・子どもの発達は人それぞれで、教科書通りではない為、実際に子どもたちと関わる機会が多くあったことが、一人ひとりに合った保育を行う大切さ、また、色々な保育の引き出しを学べたと思う。
- ・図工や音楽はもちろん、科目内での実践的な授業は、保育をしていく中でふと思い出して取り入れたりすることも多いです。座学ももちろんですが、現場で1番役に立っているのは実践的な活動の内容です。
- ・ボランティア含め実技が多かったため、実践的な能力が身に付いたと思う。
- ・幼児の発達段階や保育における基礎的な知識を学ぶことができた。また、実習だけでなく実践体験演習での現場経験により、子どもとの関わり方や教師の声かけ、保育の行い方を間近で感じることができ、技能を高めることができた。
- ・子どもへの寄り添い方や関わり方についての能力
- ・心理士の実習で、支援の必要な子に1週間実習したこと。あの時は知識もなくどのように関わればいいのかかわからないが、働くようになってから以前の実習の出来事があったからこそ「次はこう関わってみよう」と考え動く

ことができた。

- ・コミュニケーション能力。
- ・学生時代、ピアノの先生に丁寧に指導していただいたお陰で、今でも苦手意識はありますが、少し練習すれば大抵の曲は楽しんで弾けるようになりました。

【回答結果を受けて】

幼児教育コースでは、保育現場での体験的学びと大学での理論的学びの往還を理念に掲げ、人としても保育者としても成長し続けられる人物の養成に取り組んでいます。

今回いただいた卒業生のみなさんの言葉は、まさに本コースの理念を体現したものであり、大変嬉しく思いました。いただいた貴重なご意見をもとに、社会で活躍できる人物の育成に向け、今後も教育の充実に努めてまいります。